

エゾゼミ

澄川の森の音のなかで、春先のエゾアカガエル
の恋歌とそれにひきつづいてのエゾハル
ゼミにはじまりコエゾゼミそしてエゾゼミやアカ
エゾゼミとセミたちの声が 8 月のお盆すぎまで
絶えることはありません。右の写真は 8 月 19 日
12 時 53 分の記録です。この日はハシボソガラ
スの数家族が、使命を終えて動きが鈍くなった
セミ狩りに澄川の森を賑やかにしていました。
カラスに捕まったセミの悲鳴やそのセミをねだ
る子ガラスの甘える声などがが頻繁に聞こえ
ていました。賢いカラスたちはセミの動きが鈍
る時を心得ているのです。今年はエゾゼミの発
生が多いと感じました。抜殻がやたら目につ
きます。1 本の幹に 20 匹余もの抜殻があつたり
しました。



模様のパターンがそっくりなアカエゾゼミと比
較した画像がありましたので、よくよくご覧くださ
い。右のオレンジ色が強い方がアカエゾゼミで
あります。エゾゼミの大きさは 48~60mm で、
アカエゾは 58~65mm と「札幌の昆虫」に記載
されていますので、若干ですがアカエゾの方が
大きいようです。コエゾゼミは名前のおりエゾゼミを一回り小さくした按配なので区別できます。
エゾゼミはどちらかというマツ林やスギ、ヒノキ林すなわち針葉樹のあるところを好むと図鑑には
記載されていますが、ここ澄川森林には針葉樹がほとんどありません。アカエゾゼミの方は落葉
広葉樹林を好むとありますので、澄川好みでありますからして、しっかりと区別のポイントを点検し
まして、右上写真のセミはエゾゼミであると同定いたしました。



エゾと頭につきますが分布はほぼ日本全土ですが、南の方では標高の高いところすなわち夏
でも涼しいところと場所的に限られます。韓国や中国にも分布しているらしいです。出現時期は 7
月中旬から 9 月中旬です。

以前にツクツクボウシの声を確認したこともありますが、ミンミンゼミやアブラゼミ、ニイニイゼミ、
ヒグラシなど「札幌の昆虫」に掲載されている他のセミたちの声は澄川森林では聞こえてきません。
個人的にはまぼろしのエゾチッチゼミにいたっては声も姿も未知のままです。

さて来年はどんなセミがどれだけ出現するのかを楽しみにいたしましょう。